



社会的ヒステリーには冷静に

長い間、我慢に我慢を重ねて蓄積された鬱憤やストレスが、何かをきっかけに爆発することは個人だけでなく社会にもあります。

外国船がしきりに日本近海に姿を現した幕末、国内では勤皇だ佐幕だ、あるいは攘夷だと騒々しくなり、一般の農民や町民は、徳川幕府の命運が尽きることを予感しつつ不安の日々を過ごしていました。そんな時、どこからともなく「天からお札が降ってきた、これは良いことが起こる兆候だ」という噂が広まり、人々は「ええじゃないか、ええじゃないか」とヒステリックに踊り狂ったことがありました。このムーブメントは全国に飛び火して約3カ月続き、王政復古とともにピタリと止んだのです。

1960年代後半から始まる学生運動（全共闘運動）も、それと同じような一種の社会的ヒステリーだったのではないかとする研究者は大勢います。運動に参加した学生が熱病のように憧れた社会主義国家は、蓋を開けてみれば理想とはかけ離れた国家でした。若い方は信じられないでしょうが、あの北朝鮮でさえ、彼らはパラダイスと捉えていたのです。

この全共闘運動の背景には、戦争に敗れた日本が、初めて

体験する欧米型の民主主義に戸惑い、かといって戦前の軍国主義に戻るわけにはいかず、先の見えない不安が募っていたのではないとも言われています。

新型コロナウイルスが全世界を混乱に巻き込んでいる最中に、アメリカでは警察官による暴行で黒人が亡くなりました。これに対して巻き起こった抗議デモは日本を含め世界に飛び火しています。これも歴史的経験から俯瞰的に見れば、そこに正当性があるとは言え、一種の社会的ヒステリーと言えなくもありません。このムーブメントは、新型コロナウイルスの感染拡大に費やした努力を、一挙に無に帰してしまう危険性があります。

クラスター感染を防ぐという、いわばコロナ戦争の最前線で闘う当法人の職員の皆さんは、利用者様の生命を守るために誰よりもストレスを溜め込んでいることでしょうか。にも関わらず感染防止のマニュアルを愚直なまでに遂行している姿には、頭が下がります。職業倫理、使命感が皆さんを支えているのだらうと思います。改めて皆さんの姿勢には感謝申し上げます。

今後とも、社会的な大きなうねりを是は是、非は非と冷静に受け止めながら、動揺することなく、淡々と業務に邁進していただきたいと思います。



「鶴足津福祉会ふれあい広場」開催中止のお知らせ

今年、8月28日に開催を予定しておりました「鶴足津福祉会 ふれあい広場」は、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、利用者様の健康と安全を最優先に考え、誠に残念ではございますが、開催を中止することといたしました。

何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。



施設の見学は随時、承っております。お気軽にお越しください。また、電話やメールなどでもお問い合わせを受け付けております。各施設の電話番号、メールアドレスは本編に併記してあります。

障害者支援施設 みとよ荘

〒767-0021 香川県三豊市高瀬町佐股乙443番地1
Tel. 0875-74-7829 Fax. 0875-74-7847
E-mail mitoyoso@utazufukushikai.or.jp

利用者様から喜びの声が

2階が完成

2月から開始している大規模修繕で、2階部分が完成しました。4月6日からAユニットとして男性利用者様25名が過ごしています。

職員配置を固定した新体制で利用者様の対応や職員の動きなど、日々模索・奮闘しています。

利用者様からは「きれいになった」「気持ちがいい」など喜びの声が上がっています。

今は生活介護に重点を置いて業務を行っていますが、一つ

ずつできることを増やしなが、利用者様、職員ともに喜びあえるユニットを目指したいと思います。

生活支援員 土田 勝也



居室も一新されました

ケアハウスマイルドハート 丸亀

〒763-0051 香川県丸亀市今津町219番地2
Tel. 0877-21-5200 Fax. 0877-21-5282
E-mail mildma@utazufukushikai.or.jp

プランターで花を育てる

園芸療法

老人デイサービスでは園芸療法の一貫として、プランターにお花を植え育てています。認知症の進行予防や脳の活性化を目的に始めましたが、「日々成長していく様子を観察することに喜びや達成感を感じる」と利用者様から嬉しい言葉を聞くことができました。水やりや追肥など簡単な作業を通して、手先の運動機能向上を目指しています。

暑さに負けず、元気に育ってくれることを願い、今後も利

用者様と共同作業で行っていききたいと思います。

機能訓練指導員 福本 幸奈



芽が出るのはいつかな

障害者支援施設 土器川タウン

〒763-0092 香川県丸亀市川西町南207番地3
Tel. 0877-58-7757 Fax. 0877-28-2627
E-mail doki@utazufukushikai.or.jp

外出自粛でも楽しいことはできます

お茶会

新型コロナウイルスで外出が制限されるなか、土器川タウンでは、利用者様に少しでも気分転換していただこうと、お茶会を開催しました。

お茶会では、お抹茶とお菓子を用意し食べていただきました。利用者様からは「今、外出できないけど、おいしい抹茶とお菓子を味わって気分転換できた。ありがとう」と言っいただき、開催して良かったと感じました。

これからも、利用者様が少しでも喜び楽しい気持ちになる

ような行事を考えていきたいと思っています。

生活支援員 星野 祐弥



お茶の香りがまた良いですね

障害者支援施設 高瀬荘

〒767-0021 香川県三豊市高瀬町佐股乙425番地3
Tel. 0875-74-7811 Fax. 0875-74-7818
E-mail takaseso@utazufukushikai.or.jp

皆様のご協力を頂きながら

感染症対策

今年は、全国的に猛威を振っている新型コロナウイルスの影響があり、高瀬荘でも例年以上に感染防止対策を行っています。

手指消毒、換気を小まめに行う、手すり・ドアノブなどの触る場所の消毒を行うとともに、定期的に利用者様の検温・体調確認を行っています。また、利用者様にはご不便をおかけしていますが、感染防止対策として入所利用者様には外出・外泊・面会の自粛を行っていただきました。

通所利用者様の送迎の運行を自粛し、保護者の皆様に送迎のご協力を頂きながら、通所利用者の方には、別の建物で活動に取り組んでいただくなどの対策を行いました。

6月になり少しずつ自粛を解除し、入所利用者様の外泊や、通所利用者様の送迎を再開しています。今後とも利用者の皆様の安全を最優先に考えながら、現状を乗り越えていきたいと思っています。一日でも早く、事態が終息することを心から願っています。

生活支援員 横関 弾



みんなが触るところは入念に消毒

障害福祉サービス事業所 さかいで

〒762-0003 香川県坂出市久米町一丁目518番地1
Tel. 0877-46-3088 Fax. 0877-46-3088
E-mail sakaide@utazufukushikai.or.jp

行って良かったエコランド鶴足津

突然のイチゴ狩り体験

新型コロナウイルス感染症予防のため、放課後等デイサービスさかいでにおいても感染症対策を万全にして、臨時休校中でエネルギーをもてあましている元気な子どもたちを迎えています。

「3密」を避けるため、エコランド鶴足津の広い芝生広場で鬼ごっこやかくれんぼをして体を動かすことが子どもたちの楽しみになっています。

5月21日、昼食後、いつものように芝生広場で鬼ごっこをしていると、エコランド鶴足津の入江施設長から「イチゴ狩り」の誘いがあり、子どもたちもスタッフも大喜び。手洗い

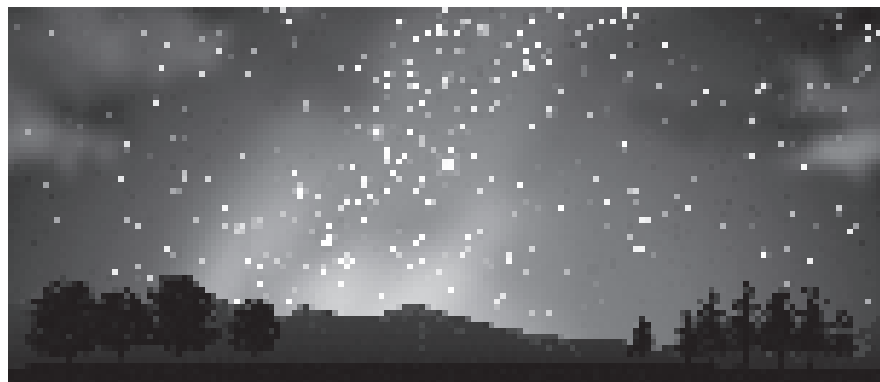
と消毒を念入りにして、いいにおいのする温室へ。真っ赤なイチゴを見つけると、子どもたちは大喜びです。「大きいの見つけたよ!」「10個も食べたよ!」と、温室内の暑さも忘れて、楽しくて夢中のひとときを味わいました。

収穫が終わったあとは、みんなでお礼のごあいさつをすることもできました。とても貴重な体験ができ、大満足の日でした。

副主任児童指導員 多田 千秋



「美味しそうだよ」「むむ、やるな……」



天の川

介護老人保健施設 ライトハート いきいき荘

〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁53番地1
Tel. 0877-49-7255 Fax. 0877-49-3334
E-mail ikiikiso@utazufukushikai.or.jp

リハビリは時間をずらして

感染症対策

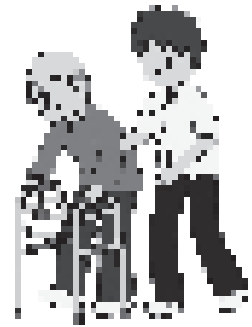
新型コロナウイルスによる病院内感染や施設内感染などが大きく話題として取り上げられることがありました。実際、当施設においてもリハビリ室は「3密」が避けられない場所の一つです。

また一日を通して通所と入所の利用者様のリハビリがあり、施設内にウイルスを持ち込みやすい部署でもあります。そこで今回考えた感染症対策として、施設全体での対策に加え、リハビリでは机や使用物の消毒、入所と通所のリハビリ時間を午

前と午後で分け、リハビリ後は手指消毒をする、リハビリ室へは必ずマスク着用してから来ていただくなど、リハビリ内容を怠らず、かつ感染を予防できることを考えました。

それには他部署との連携・協力がより必要となりました。自宅からマスク着用の呼びかけ、県外の方との接触後の対応、体温が37℃以上あった方への対応などリハビリ部門のみではできない感染症対策を実施してもらい、現時点で施設内への感染の持ち込みは防ぐことができています。

これは今回のことに限ってではなく、毎年のように注意が必要なインフルエンザやノロウイルスなどの感染症にも言えることです。職員が感染症から利用者様を守れるよう、手洗いやうがいなど個々の意識と、他部署との連携・協力は切り離せないものだと改めて気づかされました。 作業療法士 前田 愛



特別養護老人ホーム 寿楽荘

〒769-0210 香川県綾歌郡宇多津町170番地1
Tel. 0877-49-3388 Fax. 0877-49-3389
E-mail jurakuso@utazufukushikai.or.jp

豊富なメニューを取りそろえ

喫茶

新型コロナウイルスの影響で、集団での行事を中止せざるを得ませんが、喫茶は月2回、組ごとに分けたり、席を離したりして工夫しながら実施しています。

メニューは、ホットケーキ、たこ焼き、うどん、ラーメン、みつ豆、ケーキ、焼きそば、ぜんざい、スイートポテト、ところてん、抹茶ミルク、ココアなど、豊富にそろえており、利用者様は一人で何品も注文します。

利用する方が多いため、前日からメニューの聞き取りをしていますが、皆様、出来上がりを心待ちにしている様子が伺

えます。そして、召し上がったあとは「ありがとう、どれも美味しかったよ」「昔はよう喫茶にいっきよったんや」と大変喜んでいきます。今後も多くの利用者様が喫茶に参加するよう職員一同、お待ちしております。 介護職員 白井 康博



2種類のホットケーキと抹茶ミルクとココアを注文しました

ケアハウスマイルドハート 21

〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁53番地9
Tel. 0877-49-9111 Fax. 0877-49-9113
E-mail mild21@utazufukushikai.or.jp

母の日に届いたカーネーション

コロナ自粛中の“ちょっといい話”

今年はコロナウイルス流行のため、外出や面会などご家族様との交流が少なくなり、入居者様も居室で一人の時間を過ごすことが多くなりました。「一人でいると寂しい」「コロナウイルスに追いかける夢を見て怖かった」との話を聞くなど、自粛期間の影響が皆様の心情にも表れていますが、そのような生活のなかで入居者様の笑顔を見ることができた話を紹介します。

5月と言えば母の日。ある入居者様へ、ご家族様より母の日にカーネーションが届きました。さっそくお花を届けると、入居者様の表情も明るくなり「きれいやな」「いくつになっても、花をもらうことは嬉しい」と笑顔が見られました。その後も、水やりをするなど花のお世話をするなかで、穏やかな表情を何度も見かけることができました。

不便や不活性が続く自粛生活のなかでも、少しの変化で楽しみややりがいを見つけることができます。私たち職員も入居者様へ寄り添い、安心した日々を過ごしていただけるように、日々考えていかなければいけないと思います。

介護副主任 矢野 恵美



サービス付き高齢者向け住宅 **アゼリア今津**

〒763-0055 香川県丸亀市新田町172番地1
Tel. & Fax. 0877-85-8383
E-mail az-imazu@utazufukushikai.or.jp

各々が得意分野に挑戦

脳トレ



どれが合うかなあ

おやつ前に、入居様は希望に応じて機能訓練の一環として脳トレを行っています。もちろん得意不得意があるので、得意なものに挑戦しています。例えば、塗り絵、暗算、絵合わせなどに取り組んでいます。早く終わってしまい「次のないの？」と言われる方や、職員と一緒にチャレンジしている方とさまざまですが、楽しみながら取り組んでいると思います。なかにはおやつを片手に頑張っている方もおり、外出自粛のなか、少しでも有意義に過ごしていただければと思います。

介護主任 北角 圭司



好きな色を塗っていただいています

養護老人ホーム **土器川荘**

〒763-0092 香川県丸亀市川西町南207番地3
Tel. 0877-58-6210 Fax. 0877-58-6211
E-mail dokisou@utazufukushikai.or.jp

古着を再利用

マスクづくり

今年は新型コロナウイルスの影響で、入所様は外出もままならない生活が続いているなか、施設内で何かできないかと考え、クラブ活動の時間に手縫いでマスクづくりをすることになりました。

着なくなった古着などを再利用し、職員と一緒に自分用のマスクを作りました。女性だけでなく、男性の入所様も悪戦苦闘しながら一所懸命作り、素敵なマスクが出来ました。

「世界でたったひとつのマスクが出来た」「もう1枚作りたい」など意欲的な声も聞こえてきて、とても有意義な時間になったと思います。

支援員 真鍋 紀隆



カラフルでファッションアイテムとしても使えますね

高齢者ショートステイ **マイルドハート西荻**

〒167-0042 東京都杉並区西荻北一丁目19番9号
Tel. 03-3390-2831 Fax. 03-3390-3022
E-mail mildnishiogi@utazufukushikai.or.jp

母の日に職員から入居様に感謝の気持ち

一緒に作ったカーネーション

さわやかな風が心地良い季節となりました。5月は母の日がありました。母の日は普段、なかなか口に出せない“ありがとう”の想いを伝える大切な機会です。

今年は新型コロナウイルス感染拡大の予防対策によりご家族様との面会や外出を避け、入居様と職員が一緒に折り紙で

カーネーションの花を創作し、フロアに飾りました。

入居様はご家族様に会えず、ちょっとさみしい母の日でしたが、職員から入居様へ“ありがとう”の感謝の気持ちを伝えることができました。来年は、面会や外出などご家族様とゆっくり一緒に過ごすことができるとよいですね。

介護職員
佐々木 美幸



入居者の皆様、いつもありがとうございます

ケアハウスマイルドハート 坂出

〒762-0005 香川県坂出市横津町三丁目2番11号
Tel. 0877-44-5255 Fax. 0877-44-5266
E-mail mildsa@utazufukushikai.or.jp

昔ながらの喫茶店をイメージして

お料理レク

新型コロナウイルスの影響で外出が中止になり、少しでも利用者様に喜んでいただこうと、5月8日にお料理レクを行いました。

今回のメニューは、昔ながらの喫茶店をイメージした目玉焼き乗せナポリタン、エビフライ、フライドポテト、クリームシチュー、サラダ、紅茶のケーキ、クリームソーダと盛りだくさんの料理を用意しました。

特に、クリームソーダは大好評で、クリームソーダのサク

ランボを最初に食べるか、最後にとっておくかで議論になり、大変楽しかったです。まだまだ新型コロナウイルスの影響があるとは思いますが、利用者様に楽しんでいただける行事を計画していきたいと思います。 介護職員 眞鍋 笹香



目玉焼き乗せナポリタン。たしかにこんなのがありました

特別養護老人ホームマイルドハート高円寺 ほのぼの

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北一丁目28-1
Tel. 03-5345-5981 Fax. 03-5345-9960
E-mail honobono@utazufukushikai.or.jp

皆様の笑顔を守るために多彩な企画

コロナに負けるな!

新型コロナウイルス感染拡大防止による施設での面会制限から早くも4カ月がたちました。ご家族様にとりましては、施設で生活している入居者様の様子が気になることと思います。このような状況のなかでも、日々入居者様が快適に生活できるよう、フロア・ユニットごとにいろいろなイベントを企画しています。先日のお誕生日会では大きなケーキを囲み、みんなで長寿のお祝いをしました。そのほかにも、おやつ作り、風船バレー、上半身の体操、そしてお日様が出ている日は日光浴に屋上へ! 暖かな日差しを感じながら「日光浴はコロナを退治できるのよ!」と嬉しそうに話す入居者様もいらっしゃいます。職員も入居者様向けの体操を学び、一緒に楽しく運動しています。また、7月には毎年のイベントである「スイカ割り」と

「かき氷作り」も企画しています。

「コロナを吹き飛ばす!」を合言葉に、職員一丸となって入居者様の笑顔あふれるイベントをこれからも開催していきます。

そして、5月25日からスカイプを使ってのオンライン通話が開始になりました。画面を通してではありませんが、ご本人様の元気な姿を見ながらお話しができることで、ご家族様に少しでも安心していただければと思っています。まだ改良の余地はありますが、面会制限解除までには当面時間がかかると思われますので、ぜひご活用ください。 介護職員 関口 修平



お誕生日おめでとうございます

部署 拝見 いきいき荘リハビリテーション科

いきいき荘リハビリテーション科では、理学療法士(1名)・作業療法士(3名)の専門職が協力し合い、入所・通所の利用者様をサポートしています。また、「安心」「安全」「楽しい」生活を送っていただけるよう、他職種とも連携を行っています。

介助量軽減や在宅復帰に向けて身体機能や認知機能の維持・向上を図るよう、個別リハビリテーション・集団リハビリテーションを実施しています。日常生活を安心して送っていただけるよう、リハビリスタッフが事前に家屋評価を行い、介助指導や環境設定(福祉用具・住宅改修)の提案も行っています。

理学療法士 梶 秀門



左から永江史代、前田愛、梶秀門、白石知里

障害者支援施設 マイルドハート高円寺 なでしこ

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北一丁目28-1
Tel. 03-5345-6740 Fax. 03-3388-5279
E-mail nadesico@utazufukushikai.or.jp

美味しく作れました!

楽しく調理実習

なかなか外出の難しい時期ですが、室内でも楽しく美味しく調理実習を行いました。

メニューはキノコの和風パスタ、鶏肉のトマト煮込み、シュークリームと少し難易度の高い料理でしたが、入所の利用者様と職員で力を合わせて美味しい料理を作ることができました。

料理別でチームに別れ、野菜を切ったり、キノコをほぐしたり、混ぜたり炒めたりと、笑いあり、ちょっとしたハプニ

ングありの楽しい調理実習となりました。

やはり皆で協力して作った料理はより一層美味しく感じるのか、黙々と食べている姿や、笑顔で食べる利用者様の顔がとても印象に残った1日でした。

今の時期、特に衛生面に気を配りながら、今後も利用者様が楽しみとなるイベントの一つとして調理実習が行えるように職員一同協力していきたいと思えます。

管理栄養士
宮本 ちひろ



みんなで作ったから美味しいんだね

特別養護老人ホーム 今津荘

〒763-0051 香川県丸亀市今津町186番地1
Tel. 0877-58-2611 Fax. 0877-21-2007
E-mail imazuso@utazufukushikai.or.jp

こいのぼりの思い出

五月の節句

五月の節句に、今津荘では毎年、各ユニットにこいのぼりを飾っています。

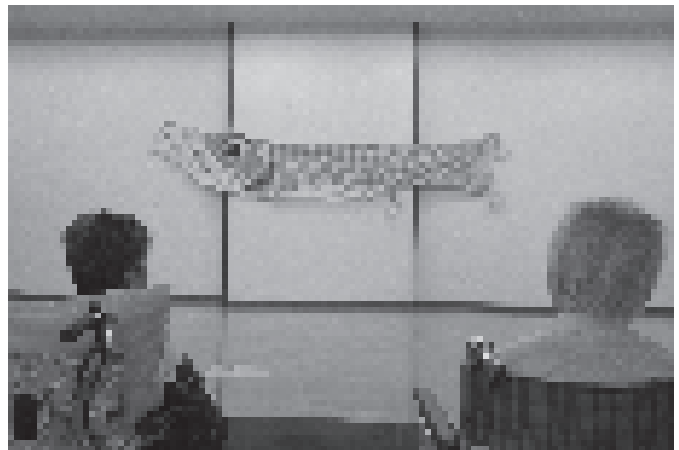
こいのぼりを見た利用者様が思い出話に花を咲かせていましたので、その一つを紹介したいと思います。

「毎年、旦那と一緒にこいのぼりをたてたりしよったな」

「そうやな。旦那の仕事が忙しいときは一人でたてたりもしよったで」

思い出話に花が咲く利用者様を見て、職員一同心温まる思いがしました。今後も入居者様にとって、居心地の良い環境作りに努めたいと思います。

介護職員 丸岡 陽介



いろんなことを思い出しますね

福祉時報 マスクと熱中症のリスクについて

私たちは新型コロナウイルスの感染を防ぐため、新しい生活様式のひとつとして、多くの人が夏場にマスクを付けて過ごすという、あまり経験したことがない夏を迎えることとなります。

人間は通常、体温より低い空気を吸い込み、鼻の中や肺の中で温められた息を出します。空気が体内の熱を奪い、体が冷やされるという仕組みです。それがマスクを付けていると、吐いた息がマスクでブロックされたり、呼吸で温まっているマスクを通じて息を吸ったりすることで、体がより熱を持ちやすくなってしまいます。また、マスクを付けていることで呼吸に負担がかかり、肋間筋や横隔膜を必要以上に働かせることとなります。運動しているのと同じ状態となるため、体温が上がって熱中症のリスクを高めるそうです。

基本的な熱中症対策は、マスクの着用の有無によって変わりはありませんが、まず最も大切なのがこまめに水分を

摂ることです。

水分を摂る時間がないからといって一気に飲みしても、水分はしっかりと体内に吸収されていきません。また、のどが渇いたときに水分を摂ったのでは、もうすでに熱中症になっている可能性があります。水分はこまめにゆっくりと摂ることが必要です。特に、マスクをしているとどの渇きを感じない場合が多く、気が付いたら熱中症になっているという可能性がありますので、よりこまめに水分を摂る必要があります。

のどの渇きを元々感じにくい高齢者や、自分でのどの渇きなどを訴えにくい障害者の皆様が積極的に水分を摂れるよう、冷房を活用して室内を涼しくしておくよう、我々職員が意識をして皆様に接していきたいと思えます。利用者の方々が体調に合わせた生活をして、感染症と熱中症を予防できるよう努めていきます。

マイルドハート坂出 副主任 宇山 和代

障害福祉サービス事業所 エコランド鶴足津

〒769-0224 香川県綾歌郡宇多津町平山2628番地718
Tel. & Fax. 0877-41-0873
E-mail ecoland@utazufukushikai.or.jp

食事でストレス緩和

ステイホームの過ごし方

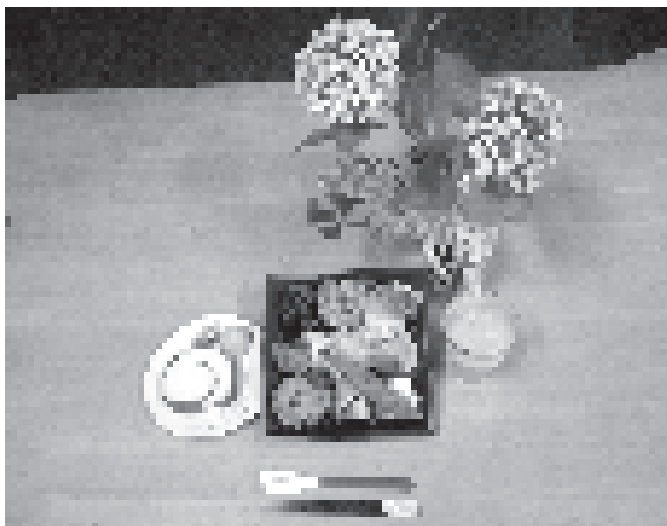
新型コロナウイルスの影響で、利用者様の外出が制限され、ストレスが増加しています。少しでも緩和されるように、職員間でミーティングを行い食事面で工夫をすることにしました。

刺身、寿司、ランチ弁当、デザートなど喜ばれるものを提供しました。利用者様が笑顔で「おいしい」と喜び、職員も利用者様の笑顔に癒しをもらい、和やかなひと時を一緒に楽しむことができました。

新型コロナウイルスの影響で窮屈な思いや新たな生活習慣によるストレスなどありますが、少しでも生活の質を高め、維持

できるように支援していきたいと思います。コロナに負けないようにいろいろな案を出し合い、生活を楽しみたいと思います。

グループホーム鶴足津 世話人 古川 千夏



これならストレスも解消です

障害福祉サービス事業所 かりん園

〒766-0023 香川県仲多度郡まんのう町吉野4300番地22
Tel. 0877-79-1230 Fax. 0877-79-1231
E-mail karin@utazufukushikai.or.jp

除草後の公園で遊ぶ人たちを見て満足

施設外就労

かりん園就労継続支援B型では、電気メーターの部品分解や、さをり織りなどさまざまな作業に取り組んでいます。そのなかでも今回は、施設外就労として行っている除草作業について紹介します。

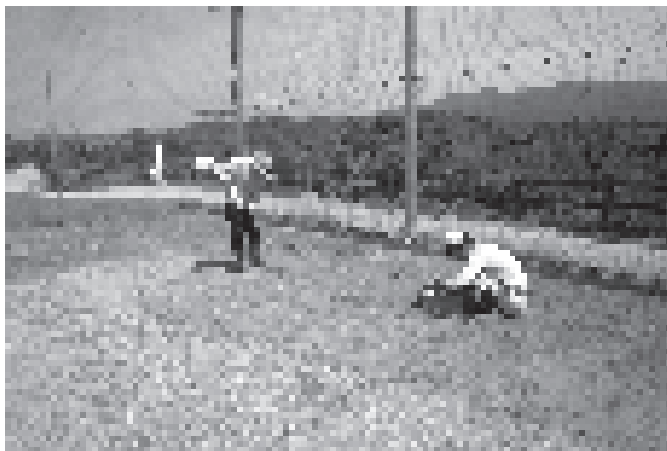
まんのう町から委託されている町内の公園やサッカーグラウンド、浄水場などの除草を利用者様、職員が協力して行っています。草刈り機で刈った草を集めたり、草刈り機が入らない狭い場所では、手作業で鎌などを使って刈っています。道具を扱うにあたり、安全に取り組んでいますが、道具だけが危険なわけではありません。場所によっては、茂みが深いため、蜂や蛇などにいつ遭遇するかわかりません。そのために、周辺の環境には十分に気をつけ、衣類の工夫など身だしなみへの意識も高め、自分だけでなくお互いの安全にも気を配ることができるように危機管理にも努めています。

公園やサッカーグラウンドは、地域住民の方や町外からもたくさんの方が利用している場所なので、除草後の綺麗になった場所を見ると、とてもやりがいを感じる作業です。

作業に取り組んだ利用者様も、綺麗になった公園で遊んでいる人たちの姿を見ると、満足した表情で今後のやる気にも繋がっているようです。

除草作業は、暖かくなり始めたころから秋に向けてが、最も作業が盛んな時期になります。感染症予防対策を取りつつ、害虫や熱中症には十分に気を付け、今後も除草作業に取り組んでいきます。

作業支援員 秋山 ひとみ



除草作業はていねいに

編集後記

夏はウナギ、といきたいところですが、ウナギの稚魚が減少しているそうです。そこでナマズを試してみたいかでしょうか。暑い国タイでは、ナマズは高たんぱく低脂肪で、しかもコラーゲン、ビタミンA、B1、B2が豊富ということで大人気の食材です。蒲焼きにすると味は変わらないのに値段は半額以下。筆者はナマズの蒲焼きがスタンダードになることを願う一人です。

鶴足津福祉会本部『ほのぼの』編集局

ほのぼの2020年7月号 vol.403

令和2年7月発行

発行人 小松 守

発行 社会福祉法人 鶴足津福祉会

〒769-0205

香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁53番地11

Tel. 0877-49-4172 Fax. 0877-49-4108

URL <https://www.utazufukushikai.or.jp/>

E-mail honbu@utazufukushikai.or.jp

印刷 株式会社 中誠堂